

# 静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校） “学びをつなげる学校” だより



令和5年12月4日 第11号 【文責 校長 佐藤容子】

ホームページからカラー版もご覧いただけます。↑

## 【高校とつながる取組：科学技術高校 都市基盤工学科2年生からのプレゼント】

12月1日科学技術高等学校 都市基盤工学科2年生が制作した「巨大ピンゲーム」「的あて」「割りばし鉄砲」「パチンコ」など子供たちが遊べる手作りのゲームをいただきました。科学技術高校の10月末の文化祭に出向いた本校職員が、これらのゲームで来場者が楽しんでいるのを見て声をかけさせていただいたことが交流のきっかけとなりました。高校の御配慮でゲームの寄贈、贈呈式の挙行となりました。テスト期間の合間に時間を割いて代表で来校いただいた2年生3人が、本校小学生にゲームの使い方のコツを伝授してくれました。3人の高校生の中のお一人は、「小中学校時代に本校との交流の経験があったため贈呈式を楽しみにしてきた。」と言ってくださいました。嬉しい“つながり”からの“つながり”がいっぱいです。本校の子供たちが「高校生」からの愛のこもったゲームで楽しんだり、工業科の高い専門性を生かした制作物に触れることでモノづくりへの興味や関心を広げたりすることにもつながります。また、今後の更なる交流などに広げていけたら有難いと感じています。

「台湾夜市」をテーマに制作した遊び道具の一つは、素材や完成度など工業科の専門性が活かされたもので、遊び方のコツも説明いただきました。



## 【“令和5年度学校環境衛生活動優良学校”～取組が成果とつながりました～】



学校環境衛生の向上に努め、子供たちの環境衛生活動への意識が高いことを、静岡県学校保健会から評価していただきました。

来校者から「きれいな学校ですね。」と言ってくることがあります。チェック項目を頼りに自主的に清掃に取り組む子供たちの姿は頼もしいです。保健室を中心に、感染症予防も含め、継続して取り組んできた衛生生活習慣をこれからも大事にしたいと思えます。



## 【企業とつながる取組：JR 東海静岡支社との津波避難訓練】



地震が発生した時の JR の対応や津波浸水域にある駅などの知識を得たり、「座ってピョン」や「ヒューマンチェーン」などの降車訓練を体験したり、有事の際に生きる学びの場となりました。

JR 東海静岡支社の方を講師に招き、中学生が、南海トラフ地震などの発生時に伴い列車が停止した時の避難方法を学びました。生じた疑問を積極的に質問するなど、高い関心をもって学ぶ様子が見られました。



## 【消防署とつながる取組：火災を想定した避難訓練～消火訓練・スモーク体験～



消防車を目の前にして、消防服を羽織ってみたり、消火用具に触れたりしたりしながら、子供たちは消防士さんからの話をキラキラした目でよく聞いていました。

小学部では、消防士さんの仕事についてインタビューして社会科の働く人の学びの場になりました。

体験に勝るものはありません。スモーク体験、消火器での消火体験などを通し、火災発生時の自分の命を守る行動をシミュレーションし、子供たちが防災意識につなげることができたと感じます。

